

北海道ファミリーハウス

—NPO法人—

北海道

ファミリーハウス通信

2022年7月22日発行/No.28

発行:NPO法人北海道ファミリーハウス
 責任者:理事・事務局長 塩谷 えり子
 060-0042 札幌市中央区大通西15丁目
 2-4 パークアベニュー札幌602号室
 TEL: (011)699-6600



特定非営利活動法人
 北海道ファミリーハウス
 理事長 南谷 晴之

第十五回 通常総会ひらく

新型コロナウイルス感染症対策で書面表決

五月二十七日(金)

■通常総会書面表決

●付議事項

第一号議案

二〇二一年度事業・活動報告に関する件

第二号議案

二〇二一年度収支決算報告・監査報告に関する件

第三号議案

二〇二一年度事業・活動計画(案)に関する件

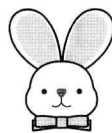
第四号議案

二〇二一年度収支予算(案)に関する件

第五号議案

二〇二一および二〇二三年度役員(再選任案)に関する件

についてお諮りし、議決権を持つ正会員全員賛成(委任状を含む)を得て報告・提案どおり決定しました。



■第一回理事会書面表決

●付議事項

一、理事長・副理事長の選任(案)

二、事務局長の任命(案)

三、主な業務分担(案)

四、今年度の活動(案)

五、顧問の選任(案)

について、理事全員の賛成を得て付議どおり決定しました。

■三役が再任

三役は次のとおりです。

理事長 南谷 晴之(再)
 副理事長 神戸 智子(再)
 理事・事務局長 塩谷えり子(再)

よろしく願います。

一、事業実施の方針

昨年に引き続き、入院治療を受ける患者とその家族(小児がん等難病患者をはじめとする入院患者家族)を経済的ならびに精神的に支援する活動を行っていきます。

二、特定非営利活動事業

(一) 援助及び支援活動

入院治療を受ける患者とその家族(小児がん等難病患者をはじめとする入院患者家族)を支援するため、小児専用直営施設「しろくまハウス」とファミリーハウス(賃貸住宅や宿泊施設等)の、ニーズに合わせ円滑な利用が図れるような活動を行っていきます。

○「しろくまハウス」の利用希望者の増加により、増室に向けて検討します。
 ○「しろくまハウス」の室内環境の充実のため、優先順位の高いものから設置を検討します。

○オーナーハウスの運営に協力し、充実を図ります。

○企業の社会貢献や団体からの助成および寄贈品の獲得に向けた取り組みを

二〇二一年度事業・活動計画

行い、当会紹介のファミリーハウス以外にも、札幌市内に滞在中の付き添い家族も含めた支援方法を検討します。

○子どもたちの笑顔づくりの活動として、他団体と連携し支援を継続します。
 ○治療に専念する子どもたちの希望に繋がる活動として、「そらぷちキッズキャンプ」を支援します。

(二) 道民に理解を求める広報
 遠方から札幌市内で入院治療を受ける小児患者とその付き添い家族の現状について理解と協力のための活動を行います。

○ファミリーハウス通信を発行します。

○これまで医療関係機関や自治体に毎年発行してきた滞在施設情報(ガイドブック)は、ホームページからのダウンロードを可能とし、紙媒体での発行を中止します。患者支援窓口へは案内しやすいリーフレットを配布します。



第22回

JHHHネットワーク会議開催

※JHHH：日本ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス
「病院近くのわが家」

令和四年一月二十二日、オンラインにて会議が開催されました。「病院近くのわが家」を運営する全国各地の団体が集まり、日々の活動でそれぞれのハウスが工夫しているところを共有し、お互いの良いところから学びあい、ハウスのより一層の質向上を目指すための会議です。今回のテーマは「ハウスと小児ホスピス

の共通点・相違点を考えよう！」です。社会的にも医療的ケア児支援法、こども家庭庁の設置等が話題になっています。小児ホスピスと聞いて、どのような事を想像しますか。「国立医療センターもみじの家」、「TSURUMIこどもホスピス」の活動報告を通じ、病気の発症時から小児患者と家族に深くかわりを持

ち長期にわたるケアを継続している事を知りました。全体会では十の分科会に分かれ、テーマについてディスカッションをしました。私たち北海道ファミリーハウスは遠方からの付き添い家族への支援が主な役割ですが、小児ホスピスも「病気の子どもと家族を支える」という目的は同じです。この度の会議への参加を通しハウス活動の一層の充実を目指すともに、社会の変化に対応する柔軟性を備えることが必然と感じました。

助成金・ご寄付・ご協力

- ・北海道信用金庫ひまわり財団
- ・赤い羽根北海道共同募金会
- ・北海道労働金庫
- ・公益財団法人コープさっぽろ
- ・社会福祉基金
- ・北海道電力関連産業労働組合総連合
- ・我汝会さっぽろ病院
- ・(株)ゼタセグメント
- ・(株)オール
- ・(株)パークゴルフコンサルタント
- ・第一生命保険(株)札幌総合支社
- ・北海道医師会
- ・北苑マンション管理組合



ほか個人の皆様よりのご寄付、物品(自転車・おもちゃ・金券など)の寄贈を賜りました。心より御礼申し上げます。

- ・シルバー人材センター札幌中央支部
- ・月寒引越プラザ(株)
- ・札幌市共同募金委員会
- ・NPO法人キープ・ママ・スマイリング

(敬称略)

協働団体紹介

公益財団法人

「がんの子どもを守る会」北海道支部

がんの子どもを守る会北海道支部は、小児がんの子どもを持つ親たちが中心となり、全国で3番目の支部として、1972年9月に設立されました。

不治の病と言われていた「小児がん」も今は治癒する病気へと変わりつつありますが、小児がんと告げられた患児と家族が抱える問題や悩みは多く、情報誌「のぞみ」やパンフレット、講演会や勉強会、交流会を通して病気についての理解を深め、少しでも悩みを軽減できるよう活動しています。



二〇一九年七月に開設された「しろくまハウス」は、四年目を迎えます。昨年の二室目の増室や事務所移転により、ご家族と話をする機会が増えまし。コロナ感染が終息に向かわない中、遠方から来札される家族の大変さは私たちの想像以上のものがあります。治療が終了し退院される時のご家族の晴れやかな笑顔や一緒に滞在された小さなお子さんの成長は私たちスタッフの喜びです。「しろくまハウス」は、こちらに書ききれないほどの嬉しい応援や

直営 しろくまハウス

これからも、北海道ファミリーハウスは患者さんとその付き添い家族を応援します。

メッセージをたくさん頂いています。「しろくまハウス」を大事に思っており、感謝申し上げます。



▲エアコン設置